

過去形と現在完了形、使い分けるべき場面もある一方、どちらでも良いケースもあります。

ここからはちょっと難しく、「どちらでも良いんだけど、微妙な差があって、こうやって使い分けることができますよ」というお話をいたします。

### ■「だから今…」のニュアンスを出したい

過去のいつかを表さない、あるいはrecentlyのように、ばくぜんとした意味でしか表さない。

そんな場合には、過去形、現在完了形どちらでもOKです。

しかし、

- 1 : 「最近のこと」であり
- 2 : なおかつ「だから今…」というように、過去のことの結果、今どうなっているのかにも触れたいニュアンスの場合

この2つの条件を満たす場合。

現在完了形を使った方が綺麗に、かっこよく聞こえます。

例えば、テーブルが壊れていて困っていた。

そこで、直した。その場合、

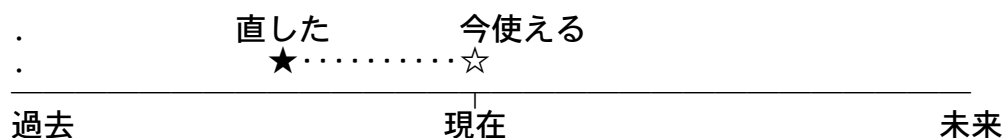
I have fixed the table. You can use it now.  
「テーブル直しといたよ。今使えるよ」

と言います。

このポイントは、

「You can use it now. 「今使えるよ」につながっている」

という部分です。



単に「直した」ということを言いたいだけではなく、「だから今…」のニュアンスも入れたい。

そして、多くの場合、上記のYou can use it now.のように、実際に「だから今どうなのか？」までも言います。

そんな時は、現在完了形を使うと、綺麗に、かっこよく聞こえます。

ルール上は、I fixed the table.だって良いのです。

「過去のいつかを表さない、ばくぜんとして過去を表すだけ」

ですから。

そして、実際に、I fixed the table. You can use it now.と  
言うネイティブも多いです。

ただ、I have fixed the table. You can use it now.と言った方が、  
綺麗に、カッコよく聞こえます。

「お、この人、言語能力があるな」  
「お、この人、英語が綺麗だな」

という感じであり、上級レベルの話です。

ただ、上級者、超上級者を目指す方は、  
気にかけてみると、さらにレベルアップができます。

他の例も見ておきましょう。

例えば、雑誌を読もうと思ったんだけどない。  
「あれ？ どこ行ったかな？」と探している。

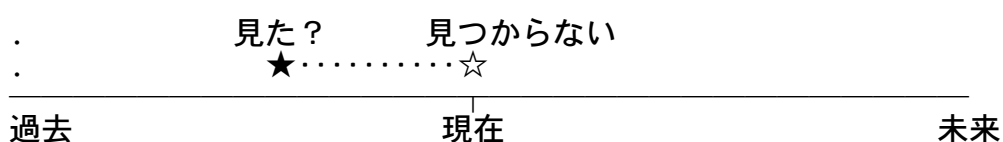
そんな時は、

I can't find my fashion magazine. Have you seen it?  
「私のファッション雑誌が見つからないんだ。見た？」

と言います。

こちらも、ポイントは、

「I can't find my fashion magazine. 「見つからないんだ」  
につながっている」



ということです。

## ■ 「最近」でない場合は使えない

上記のように「だから今・・・」という場合、  
現在完了形を使うと綺麗、カッコ良いのですが、

それは「最近」である必要があります。

例えば、2年前にテーブルが壊れた話をしている。

そして、「私が直しました」と言いたい。

確かに、「だから今使えるんですよ」と言えば確かにそうなのですが、2年前のことであり、最近とは言えません。

なので、普通は、この場合、I fixed the table.とだけ言います。

特に、

Ieyasu Tokugawa established a new government, so Japan's capital city is Tokyo.

「徳川家康が新しい幕府を設立しました。だから、日本の首都は東京なのです」

のように、明らかに大昔の時はなおさらです。

## ■ニュースでの使い方

ニュースにおいては、最初の概要を伝える文は現在完了形で言って、「最近のことで、今に関係あるから伝えていますよ」というニュアンスを出した後で、それ以降は過去形を使う、ということがなされます。

例えば、

Baseball legend John Smith has died. He was 98 years old.

「野球の偉大な選手、ジョン・スミス氏が亡くなりました。98歳でした」

などです。

~~~~~

ここで、問題の解答と解説のサンプルを1問分、お見せいたします。

### 【実際に英文を作ってみよう！】

単語を並べ替えて、日本語の意味の英文を作ってください。

※：ただし、以下の単語は並べ替えるべき単語に入っておらず、適宜自分で補って考えてみてください。

I, me, my, we, us, our, you, your, he, him, his, she, her, it, its, they, them, their, this, these, that, those

※：本来、複数形にするはずの単語は単数のままにしてあります。これも適宜自分で複数形にしてください。最初から複数形になっているものは、複数形のままにしてください。

※：have not→haven't, I am→I'mのような短縮形にする、しないはどちらでもかまいません。

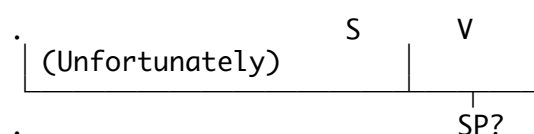
※：本来anとすべきところも、「a」になっています。適宜、anに直して使ってください。

- ※：be動詞 (am、was等) は「be」と記載します。  
適宜、正しい形に直してください。
- ※：どの時制であれ、動詞は「run」のように原形で表します。  
runs、ran、has run、is runningなど、適宜時制を変えて使ってください。
- ※：否定文、疑問文にするための語 (not、do、does、haveなど) は単語リストに入っていません。適宜補ってください。  
ただし、not以外の否定文、例えばneverを使った否定文などは、単語リストに入っています。(neverを使った否定文ならnever)
- ※：助動詞は入っていません。必要なものは適宜補ってください。
- ※：所有格にすべき単語もそのまま記載しています。  
例えば、Terry'sとすべきものでも、Terryとしか記載しません。  
適宜補って使ってください。

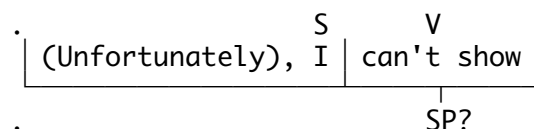
■7. 私のノートパソコンが壊れたため、残念ながら、予測をお示しすることができません。

(show/break/unfortunately/laptop/the/down/projection)

まず最初に副詞「残念ながら」を入れてしまいます。

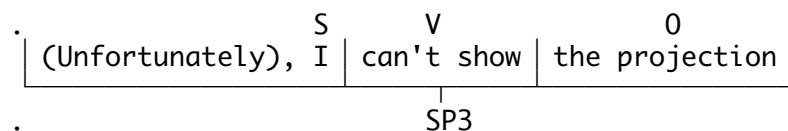


S：私  
V：お示しすることができない



### 第3文型

0：予測



続いて、because節を作っていきます。

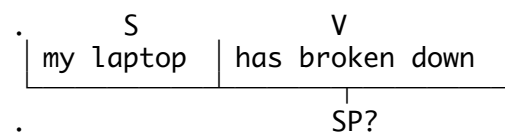
S：私のノートパソコン  
V：壊れた

これは過去のいつかをはっきりと言っていないので、過去形、現在完了形、どちらでも良いケース。

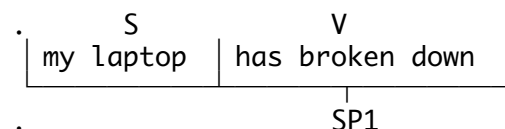
しかし、「だから今、予測を見せられない」と、今への影響があるニュアンス。

そして、最近のことと考えられます。

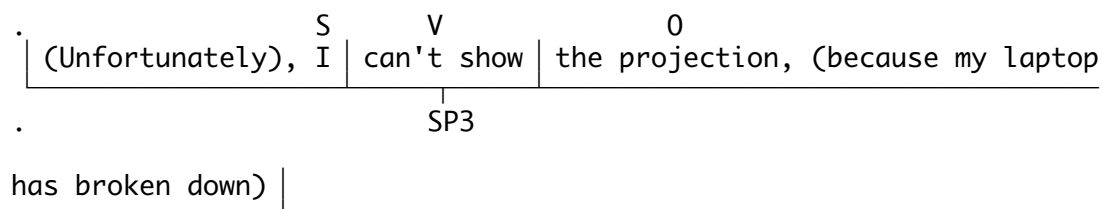
この場合、現在完了形の方が綺麗なので、こちらを使っていきます。



第1文型で、入れる副詞もないので、これでbecause節が完成。



そして、文全体も完成となります。



【答え】 Unfortunately, I can't show the projection, because my laptop has broken down.

本講座の1号分のうち、ほんの一部ではありますが、サンプルの内容は以上となります。

本講座が英語学習のお役に立てればと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。